

1 地域素材を生かした学習

結果

児童「地域の学習など、生活科や総合の学習をすることが好きである。」	98%	→	98%	A
保護者「地域のことについて学んだことが、お子様や <u>お便り</u> 、 <u>ホームページ等</u> から伝わってくる」	73%	→	99%	A
教職員「生活科や総合的な学習の時間で地域素材・ゲストティーチャーなど地域の教育力の活用を図っている。」	100%	→	100%	A

分析・対策

保護者の項目において、お便り、ホームページの文言を追加したことで、大きく数値が向上した。生活科や総合の学習における児童の様子をお便りやホームページなどで、発信していることが保護者にもしっかりと伝わっている。今後も、継続して授業の様子を発信し、伝えていく。

2 開かれた学校

結果

保護者「学校便りや学年便りなどで、学校の指導方針や子どもたちの様子等が分かりやすく伝わってくる」	99%	→	100%	A
地区関係者「地域に学校の教育方針や活動を学校便りやホームページにより積極的に分かりやすく伝えている」	95%	→	100%	A
「学校は、学校CNを活用し、地域との連携を大切にして教育活動を行っている」	95%	→	100%	A
教職員「家庭や地域、ゲストティーチャーとの連携に際し、学校コーディネーターを活用している」	100%	→	100%	A

分析・対策

充実したお便りやホームページの更新などにより、学校の教育方針や子どもたちの活動の様子が地域に十分に伝わっていると考えられる。また、学校コーディネーターと地域・先生方の連携が密になっていることで、充実した教育活動が行われている。

3 学力ロードマップをもとに組織的に取り組む

結果

教職員「学力向上にむけロードマップをもとに、自分の役割を遂行している」	100%	→	100%
-------------------------------------	------	---	------

分析・対策

ロードマップをもとに各リーダーが中心となり全職員で計画的に組織的に学力向上に取り組むことができている。また、職員一人一人が自分の役割をしっかりと果たしていることが、学力向上につながっていると考えられる。